

科目名				授業の種類	授業担当者
幼児理解・教育相談				講義	戸谷佳子
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	2	30	15	前期	幼児:必修 保育士:選択
〔授業の目的・ねらい〕					
<p>幼児、児童及び生徒が自己理解を深めたり、好ましい人間関係を築いたりしながら集団生活に適応できる力をはぐくみ、個性の伸長や人格の成長を支援することを学ぶ。それぞれの発達の特性に即し、個々の心的特質や課題を捉え、支援するための基礎的知識を身に付ける。</p>					
〔授業全体の内容と概要〕					
<p>教育相談の意義を理解する。教育相談における心理学の基礎知識やカウンセリングの基礎についても理解し、教育相談を行う際に目標の立て方や進め方が具体的にわかる。さらに様々な専門機関との連携についても学ぶ。</p>					
〔受講上の注意事項〕					
<p>講義内容を確認するためにロールプレイなども行います。なお基準を設け、その基準で評価します。</p>					
〔使用テキスト〕			〔評価基準〕		
使用テキストなし。適宜プリントを配布します。			授業内の課題・ワークにおける評価		
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕					
回	項目	授業内容			
1	教育相談の意義	教育相談の全体像を知る			
2	心理学の基礎的な理論	教育相談にかかわる心理学的な理論及び概念			
3	幼児期からの発達	各段階の発達を教育相談の視点から見る			
4	幼児・児童・生徒のつまずき	人とのかかわりの中でのつまずきを理解し、支援を学ぶ			
5	カウンセリングの基礎	受容・共感・傾聴について			
6	幼児・児童・生徒を理解する	教師の基礎的な態度			
7	個と集団	個と集団でのそれぞれの支援について			
8	保護者支援	保護者の心情と保護者への対応			
9	いじめ・不登校・不登園など	様々な問題の理解と教育相談			
10	教育相談の意義目標の立て方・進め方	教育相談をする際の目標の立て方と進め方			
11	教育相談の計画の作成と組織	教育相談の全体像を知る計画と組織での取り組み			
12	専門機関との連携	様々な専門機関との連携			
13	観察と記録	こどもの観察と記録の実際			
14	事例での理解	実際の保育場面の映像や事例をもとに幼児・児童・生徒の理解を深める			
15	教育相談の課題とまとめ	教育相談の課題とまとめ			

実務教員としての経歴	
実務経験と授業の関連	